

知っておこう！ 津波とその防災対策

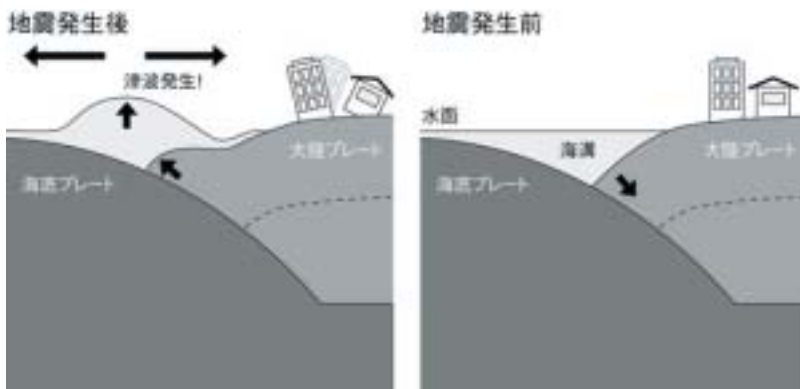
◆地殻変動が津波を起こす

津波の「津」は、港や湾を意味します。「津波」は、その「津」に押し寄せる異常な波です。この津波の発生には、地球の地殻変動が深く関係しています。

地球の表面は十数枚のプレート（厚さ数十〜百キロほどの岩盤）に分かれており、それぞれがいろいろな方向に動き、押し合っています。このため、プレート同士の境目がずれたり、プレートの内部で割れ目を生じたりすることがあります。この時に起きる揺れが地震です。海底で生じた地震に伴う海底地盤の隆起・沈降などにより、その周囲の海水が上下に変動することによって、津波は引き起こされます。また、海底の地すべりや、火山噴火で大量の土砂が海底にすべり落ちることにより、津波が発生する場合もあります。

◆津波多発国、日本

日本の近海は、太平洋プレート、フィリピン海プレート、ユーラシアプレート、北米プレートの四枚のプレートが重なる海溝やトラフ（海溝より幅が広い海底の谷）が分布しており、プレート間における大規模な海底地震による津波が発生しや



すい海域になっています。大規模な津波の影響範囲は広域に及ぶことから、ほぼすべての沿岸地域は津波被害が生じる可能性を持っているのです。

実際、日本は過去に幾度も大きな津波に見舞われています。関東大地震以後、津波により大きな被害が生じたのは、昭和8年の三陸地震津波（死者・行方不明

昨年12月26日にインドネシア・スマトラ島沖で起きた地震による津波で、20万人を超える犠牲者が出ました。このうち数多くの人が、津波に関する基礎知識がないため逃げ遅れ、命を落としたりと亡くなっています。地震多発国である日本において、津波による人的被害を防ぐために、津波のメカニズムや特性などを学び、防災意識を高めましょう。

者約3千人）、昭和35年のチリ地震津波（死者・行方不明者142人）などです。また、私たちが身近に体験した平成5年の北海道南西沖地震では、死者・行方不明者230名の大部分が津波によるものと言われています。

津波による被害は人的被害だけではなく、浸水による人間の溺死やケガはもちろん、家屋の損壊・浸水、船舶の流出や破損、道路、鉄道などの交通障害、電気、水道、ガスなどライフラインの破壊、情報混乱や物価高騰によるパニックなど、さまざまなものがあります。

◆津波に対する心得

では、いざ津波に遭遇した場合、私たちはどのような行動をとればよいでしょうか。次に5つの心得を挙げます。

- ① 強い地震（震度4以上）を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした流れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで避難場所や高台などの安全な場所に避難する。
- ② 地震を感じなくても、津波警報が発表されたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。
- ③ 津波に関する正しい情報を、ラジオ、

- ④ 津波注意報が出たら、海水浴や磯釣りは行わない。
- ⑤ 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報、津波注意報が解除されるまで気を緩めない。

津波から身を守るために、日ごろから災害に対する備えが必須です。自宅・勤務地・学校における危険度を把握し、避難場所、避難経路や緊急連絡先を家族で確認しておきましょう。



稲むらの火 過去の災害に学ぶ津波対策の大切さ

1854年に安政南海地震津波が発生した際に、地元の庄屋である浜口梧陵が収穫したばかりの稲を積み上げた「稲むら」に火を放ち、暗やみのなか、逃げ遅れた村人を、高台にある広八幡神社の境内へ導いて救ったという実話をもとに、ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）が『A Living God（生ける神）』という物語の挿話を作成しました。この『A Living God』に感銘を受けた地元の教員、中井常蔵により、子ども向けに簡潔に緊張感あふれる日本語の文章に書き改めた小説が『稲むらの火』です。小学5年生の小学国語読本に昭和12年から10年間掲載されました。防災教育不朽の名作として、現在も読み継がれています。

物語の全文は、こちらのwebサイトでご覧いただけます。
「稲むらの火」 <http://www.inamuranohi.jp/>

東京都の高校生約300名が修学旅行で瀬棚へ



瀬棚町滞在中はさまざまな産業体験を行いました。写真はホタテの水揚げ体験です。

5月28日から6日1日まで、農業特区を活用して瀬棚町に農業参入した(株)ワタミファームの親会社、ワタミ(株)の社長が理事長をつとめる東京都の「郁文館学園」の修学旅行生が瀬棚町を訪れました。

昨年と同様に修学旅行で多くの高校生が瀬棚を訪れますが、今年は総勢約300名、5月28日から5月30日、5月30日から6月1日の2班に分かれ、それぞれ3日間、瀬棚町の民宿に滞在しながら農業体験や漁業体験などを行いました。瀬棚での滞在中は、観光協会の担当者や町の職員などが分かれて随行し、体験学習の連絡調整や案内役にあたりました。

修学旅行の期間中は、天気も比較的良かったことから、予定されていた日程もスムーズに消化でき、充実した体験学習となりました。

【コリドール交流ネットワーク事業】 渡島・檜山の圏域を越えて、7つのまちがそれぞれの特性を活かし、地域の活性化に協同で取り組んでいます

ユーラップ山麓 イベントスタンプラリー

スタンプを集めて
賞品をゲット!!

8/6-7 瀬棚 せたな漁火まつり	7/24(予定) 今金 ピリカ夏まつり	8/7 八雲 やくも牧場まつり
7/30 大成 がっぱり海の幸フェスタ in わっためがして大成	7つの町のイベントを回順 所定の応募ハガキに4つ以上のスタンプを集めて応募してください。抽選により各町の特産品をプレゼントします。応募ハガキは各町の役場とイベント会場にあります	
7/2-3 長万部 毛がにまつり	5/16(終了) 熊石 あわびの里フェスティバル	
6/26 北檜山 浮島公園まつり		



コリドール交流ネットワーク推進協議会
瀬棚町窓口/縦断町民課まちづくり推進係
TEL. 01378-7-3311